

トピックス

4社合同個展〈筑波研究学園都市展〉盛況のうちに終る

共和電業・小野測器・菊水電子・渡辺測器

4社合同個展と銘うって、(株)小野測器、(株)菊水電子工業、(株)共和電業、(株)渡辺測器の4社の合同になる個展を、昨年11月に東京、大阪で開催し、それぞれのメーカーの特色をもった製品を一堂に展示し、参観者の便宜をはかる新しい展示会の方向を示し、各方面に話題を投げかけたが、これの筑波版ともいうべき〈筑波研究学園都市展〉が開催された。

5月11、12日の両日、筑波学園都市の中心部、グランド東雲で開催、約900名の参観者でにぎわった。

本展示会に(株)共和電業が出品した主な製品は次のようなものである。新製品としてビデオカセット使用の14chデータレコーダRTP-600A。本器の特長のマイクロコンピュータ搭載のオートレベル設定

機能、セルフテスト機能、GP-IBバス内蔵によるコンピュータコントロール機能などの操作系に注目を浴びた。この他にCST方式の動はずみ測定器DPM-300シリーズの全機器の展示の中で、特にDPM-310Aのデジスイッチによる任意の較正值がでる較正機能が好評を博した。このほか20点におよぶ新製品、100点以上の標準品を出品した。

他の3社は、小野測器が回転検出器、トルク検出器を中心にFFTアナライザの実演、菊水電子はオシロスコープを中心に波型記憶装置、渡辺測器はマイプロット(小型X-Yプロット)の多ペン型、小型の電池駆動式アナログレコーダをそれぞれ展示していた。

